

産地情勢 (2023.6.1)

米国産とうもろこし

作付けは順調に開始し進捗は 92% (平年 84%) となっている。(6月1日)

米国産大豆

作付けは順調に開始し進捗は 83% (平年 65%) となっている。(6月1日)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 125.5 百万トンに 0.7 百万トン増加させた。(5月12日)

)

クロープ カレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内 飼料需要 向
サファナ・コーン (冬作)		1-3 月上 旬	4月	6-8月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 154.8 百万トンに 1.2 百万トン増加させた。(5月12日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は 25%進捗 (平年 34%) した。ブエノスアイレス穀物取引所は 22/23 年度の生産見通しを 36 百万トンに据え置いている。(5月24日)

9~10月に作付したとうもろこしが一番 12月から1月初めの高温乾燥の影響を受けた。天候が今後回復すれば、その後策付けたとうもろこしの単収は改善するだろう。(2月15日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

アルゼンチン産大豆

収穫は78%進捗（平年92%）したが、単収はかなり悪い。（5月31日）

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測（5月12日）

とうもろこし

（百万トン）

	2021/22	2022/23	2023/24
米国（9-8月）	382.9	348.8	387.8
ブラジル（3-2月）	116.0	130.0	129
アルゼンチン（〃）	49.5	37.0	54

・米国は2022/23年度の輸出需要が75百万bu減少した為期末在庫率は10.32%に0.6%改善した。

・ブラジルの2022/23年度が生産量が5百万トン増加した。

大豆

（百万トン）

	2021/22	2022/23	2023/24
米国（9-8月）	121.5	116.4	122.7
ブラジル（2-1月）	130.5	155.0	163
アルゼンチン（4-3月）	43.9	27.0	48

・米国は2022/23年度の輸入が5百万bu増加した為期末在庫率は4.94%に0.12%改善した。

・ブラジルの2022/23年度が生産量が百万トン増加した。

*北半球の穀物年度は21/22の場合、2021年の月から始まるが南米は2022年の月から始まる。（USDA）